

共同プレス声明 TPP閣僚会合（仮訳）
於：シンガポール
2014年5月19-20日

我々、オーストラリア、ブルネイ・ダルサラーム、カナダ、チリ、日本、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、ペルー、シンガポール、米国、ベトナムの閣僚及び代表は、シンガポールにおいて2日間の閣僚会合を終えた。その間に、我々は、先月の日米協議や先週のホーチミン市における首席交渉官会合の結果を含む、最近の二国間のやり取りについてレビューを行った。

一連の前向きな会合において、我々は、交渉を妥結させるために何が必要かについて共通の見解を確立した。我々は、特に、市場アクセスについて意味のある進展を図ることに集中し、また、残る立場の違いを狭めるために、残されたルールの課題について前進させた。

交渉のモメンタムを更に構築するために、我々は、市場アクセスとルールについて、今後数週間に渡り、集中的な取り組みの道筋を決定した。二国間及びその他の形式で行われるその取り組みの一部として、我々は7月に首席交渉官が集まるように指示を出した。同時に、閣僚は、交渉を導き、調整し、最も困難な残された課題に取り組むために、二国間の関与を継続する。また、我々は、それぞれの国内の協議プロセスを継続する。

この重要な期間における我々の交渉は、首脳による指示と整合的な、野心的で包括的な高い水準の協定を実現するという長きに渡るコミットメントを反映するものとなる。また、我々は、何よりも、我々各国の国民にとって雇用、経済成長、機会を生み出すという共通の望みを引き続き指針としていく。